

ビーだま

ビーだまのように、キラリと光る一冊を

2023 年 1 月～12 月に発行された本の中から、とくにおすすめの本を紹介ししょうかいます

<編集・発行> 富山市立図書館 富山市西町 5 番 1 号
電話 076-461-3200
令和 6 年 4 月 23 日発行 (年 1 回発行)



こんにちは、アンリくん

エディット・ヴァシュロン／文 ヴァージニア・カール／文・絵 松井るり子／訳
徳間書店



アンリくんのかぞくは 23 人、ねこのミシェルくんのかぞくは 39 ひきです。ある日、ふたりはかあさんにたのまれて、さかなやさんへおつかいにいきました。ふたりはどうじにいちばん大きいさかなをえらんで、とりあいになります。なかなかおりして、さかなをわけあおうとしたとき、アンリくんはもっということをおもいつきました。

そんなのうそだ！



ジーン・メリル／作 小宮由／訳 坂口友佳子／絵 岩波書店

サルとブタとキツネがすむ村に、ごうかなふくをきたイヌがやってきました。なまけものの3びきは、イヌをだましてふくをうばいとろうとかんがえます。そして、しんじられないようなはなしをして、イヌに「そんなのうそだ！」といわせるしょうぶをもちかけます。



アンニンちゃんとパオズ

堀川理万子／作・絵 ポプラ社

いつもひとりであそんでいるアンニンちゃんに、パパとママが子犬をプレゼントしてくれました。子犬のなまえはパオズです。

さんぽをしていると、みんなパオズにきょうみしんしん。パオズのおかげで、アンニンちゃんにもたくさんともだちができます。



はなとりかえっこ

角野栄子／さく さとうあや／え 偕成社



アラさんは、もう3日もくしゃみがとまらなくてイライラしています。そこへブタさんがやってきて、「わたしのはなととりかえっこしません？」といいました。ブタさんは、ネジをまわすようにくるっとはなをはずすと、あっというまにアラさんのはなととりかえてしまいます。

もじゃもじゃドライブ!

おくやまゆか／さく 福音館書店



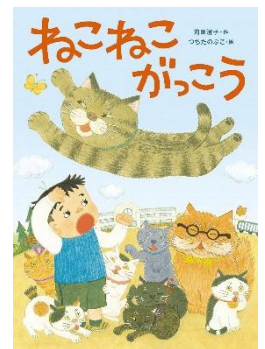
こうたのおとうさんが、車をかいました。こうたとおとうさんとおかあさんは、さっそくドライブへ出かけます。けれども、こうさてんをまがろうとしたとき、車のハンドルがきかなくなりました。車はかっ^はてにはしりだし、ブレーキもききません。しかも、車からはちやいろのけが生えてきました。



ねこねこがっこう

荻田澄子／作 つちだのぶこ／絵 文溪堂

ゆうくんが、うちをぬけだしたねこの〈にゃお〉のあとをつけていくと、ついたのは日^にようびの学校でした。休みの日の学校は、ねこでいっぱいです。にゃおは、ゆうくんに「ねこねこがっこうにきちやだめだよ」といいました。ねこの学校にいるあいだだけ、ゆうくんはねこのことばがわかるのです。



ピースケのいえで

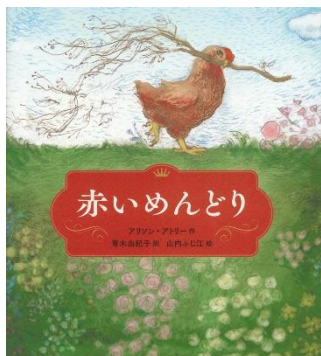
たかどのほうこ／作 童心社



ピースケは、のぶちゃんのだいじなぬいぐるみです。ある日、ピースケはソファのすきまにはさまってしまいました。けれども、のぶちゃんはいつまでたってもさがしてくれませんか。かなしくなったピースケは、ソファからぬけだすと、のぶちゃんのおともだちのてさげにとびこみました。

赤いめんどり

アリソン・アトリー／作 青木由紀子／訳 山内ふじ江／絵 福音館書店



まずしいおばあさんのいえに、やせた赤いめんどりがやってきました。ところが、かいぬしの男がやってきて、めんどりをと리카えそうとします。おばあさんはめんどりのかわりに、だいじなろうそくたてを男にわたしました。するとつぎの日、テーブルの上にとまごが1つおかれていました。



ゾウのはなのあなは、どこまでつづいているの？

中山信一／え 高岡昌江／ぶん あすなろ書房

わたしのはなは、かおのまんなかにあります。はなのあなは、2つです。あなは、はなのおくまでつづいています。

ゾウのはなもかおのまんなかにもあり、あなも2つです。わたしのはなよりながいけれど、あなはどこまでつづいているのでしょうか。



ヨシ^{まん} 3万7千キロをおよいだウミガメのはなし

リン・コックス／文 リチャード・ジョーンズ／絵 いわじょうよしひと／訳

あすなろ書房



ウミガメのヨシは、ケガをしたところをたすけられ、みなみアフリカのすいぞくかんにやってきました。それから20年たち、大きくなったヨシはうみにかえされます。ヨシは、とおくはなれたふるさとのオーストラリアをめざして、2年2か月もおよぎつづきました。